

ようこそ所長室へ

新年度のご挨拶

桜の開花宣言が4月にずれ込む例年とは異なる季節感の中、転入者を迎え職員一同気持ちも新たに平成29年度がスタートしました。

昨年度の開港50周年記念事業は、田子の浦港の新たな発展を目指すスタートラインであり、地域産業の振興と発展を支える港湾機能の充実とともに、歴史や産業、景観などの魅力を活かした、市民に開かれた「みなとづくり」を精力的に取り組んでまいります。

新年度となる4月1日には、『ふじのくに田子の浦みなと公園』の一角に、郷土の誇りである先人の国際貢献を後世に伝える「歴史学習施設“ディアナ号”」がオープンしました。一方、元吉原地区における「躍動とスポーツ」をテーマとする緑地についても、段階的な供用による効果的な整備を推進してまいります。

田子の浦港における緑地整備は、計画の段階から工事、さらには管理・運営までも地域の皆様との「協働」で進めており、地域住民と田子の浦港管理事務所の絆は、財産でもあり誇りでもあります。

この様な取り組みを通じて、産業や物流本位の工業港イメージの脱却を目指す「安全で使いやすく親しみのある」みなとづくりを事務所職員が一丸となって推進したく考えています。つきましては、皆様からのご支援ご協力をいただきますよう宜しくお願いします。



3月28日の開設式の様子

平成29年4月
静岡県田子の浦港管理事務所
うめばら ただし
所長 梅原 正

富士山にいちばん近い、環境にやさしい、エコな港

田子の浦港は、“持続可能な循環型経済活動”を目指す取り組みを支援します。

Port of Taganoura

『ふじのくに田子の浦みなと公園』にオープンした「歴史学習施設“ディアナ号”」